



aiwa bandご提案資料

■ 2025年6月以降熱中症対策義務化へ

義務付けられるのは、

- 熱中症の自覚症状がある作業員や発見者が報告する体制づくり
- 発見後の作業離脱・身体冷却・病院搬送の手順の作成

基本的な考え方



現場における対応

引用元：厚生労働省

<https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/content/contents/002212914.pdf>

<https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/content/contents/002212913.pdf>

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業主に義務付けられます。

- 1 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やバディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

- 2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、
 - ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
 - ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業員への周知

■ 2025年6月以降熱中症対策義務化へ

義務化対象となるのは、

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

第1 WBGT値(暑さ指数)の活用

WBGT基準値とは

暑熱環境による熱ストレスの
評価を行う暑さ指数のこと

日本産業規格JIS Z 8504を参考に実際の作業現場で測定
実測できない場合には、熱中症予防情報サイト等で
WBGT基準値を把握。

WBGT基準値の活用方法

表1-1に基づいて
身体作業強度とWBGT基準値を比べる

基準値を超える場合には

- ・冷房等により当該作業場所のWBGT基準値の低減を図ること
- ・身体作業強度(代謝率レベル)の低い作業に
変更すること(表1-1参照)
- ・WBGT基準値より低いWBGT値である作業場所での作業
に変更すること

表1-1 身体作業強度等に応じた WBGT 基準値

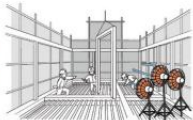
区分	身体作業強度(代謝率レベル)の例	各身体作業強度で作業する 場合のWBGT値の目安の値	
		暑熱順化者の WBGT 基準値 °C	暑熱非 順化者の WBGT 基準値 °C
0 安静	安静、楽な座位 	33	32
1 低代謝率	・軽い手作業(書く、タイピング等) ・手及び腕の作業 ・腕及び脚の作業 など 	30	29
2 中程度 代謝率	・継続的な手及び腕の作業 [くぎ(釘)打ち、盛土] ・腕及び脚の作業、 腕と胴体の作業 など 	28	26
3 高代謝率	・強度の腕及び胴体の作業 ・ショベル作業、ハンマー作業 ・重量物の荷車及び手押し車を 押したり引いたりする など 	26	23
4 極高 代謝率	・最大速度の速さでの とても激しい活動 ・激しくシャベルを使ったり 掘ったりする など 	25	20

第2 熱中症予防対策

1 作業環境管理

(1) WBGT値の低減等

屋外の高湿多湿作業場所においては、
直射日光並びに周囲の壁面及び地面
からの照り返しを避けることができる簡易
な屋根等を設けること。



(2) 休憩場所の整備等

高湿多湿作業場所の近隣に冷房を備え
た休憩場所又は日陰等の涼しい休憩場
所を設けること。



3 健康管理

(1) 健康診断結果に基づく対応等

(2) 日常の健康管理等

睡眠不足、体調不良、前日等の飲酒、朝食の
未摂取等が熱中症の発症に影響を与える
おそれがあることに留意の上、日常の健康
管理について指導を行うとともに、必要に
応じ健康相談を行うこと。



(3) 労働者の健康状態の確認

(4) 身体の状態の確認

2 作業管理

(1) 作業時間の短縮等

(2) 暑熱順化

高湿多湿作業場所において労働者を作業に従事させる場合には、暑熱順化
(熱に慣れ当該環境に適応すること)の有無が、熱中症の発症リスクに大きく
影響することを踏まえ、計画的に暑熱順化期間を設けることが望ましいこと。

(3) 水分及び塩分の摂取

自覚症状の有無にかかわらず、水分及び塩分の作業前後の摂取
及び作業中の定期的な摂取を指導すること。

(4) 服装等

熱を吸収し、又は保熱しやすい服装は避け、透湿性
及び通気性の良い服装を着用させること。



(5) 作業中の巡視

4 労働衛生教育

労働者を高湿多湿作業場所において作業に従事させる場合には、適切な作業管理、
労働者自身による健康管理等が重要であることから、作業を管理する者及び労働者
に対して、あらかじめ次の事項について労働衛生教育を行うこと。

(1) 熱中症の症状

(2) 熱中症の予防方法

(3) 緊急時の救急処置

(4) 熱中症の事例



引用元：厚生労働省

<https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/content/contents/002212914.pdf>

<https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/content/contents/002212913.pdf>

■ 2025年6月以降熱中症対策義務化へ

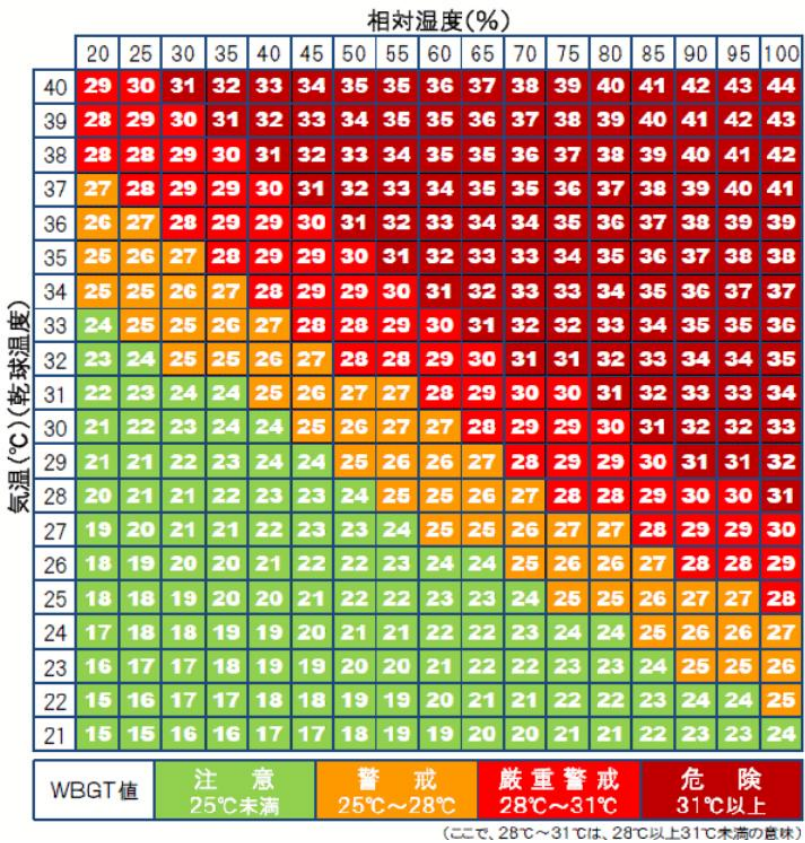
暑さ指数（WBGT）とは

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、 ③気温の3つを取り入れた指標です。なお、当サイトにおいては気温との混同を避けるため、暑さ指数(WBGT)について単位の摂氏度(℃)を省略して記載しています。

引用元：環境省
環境省熱中症予防情報サイト 暑さ指数とは？

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28以上31未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25以上28未満)	中等度以上の生活 活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

引用元：厚生労働省鳥取労働局
「暑さ指数（WBGT）を用いた熱中症対策について」



■ aiwa band<<SMB0001>>

aiwa band <<SMB0001>>は、
【労働安全衛生規則改正の基本的な考え方】の
【見つける】に最適な製品です。

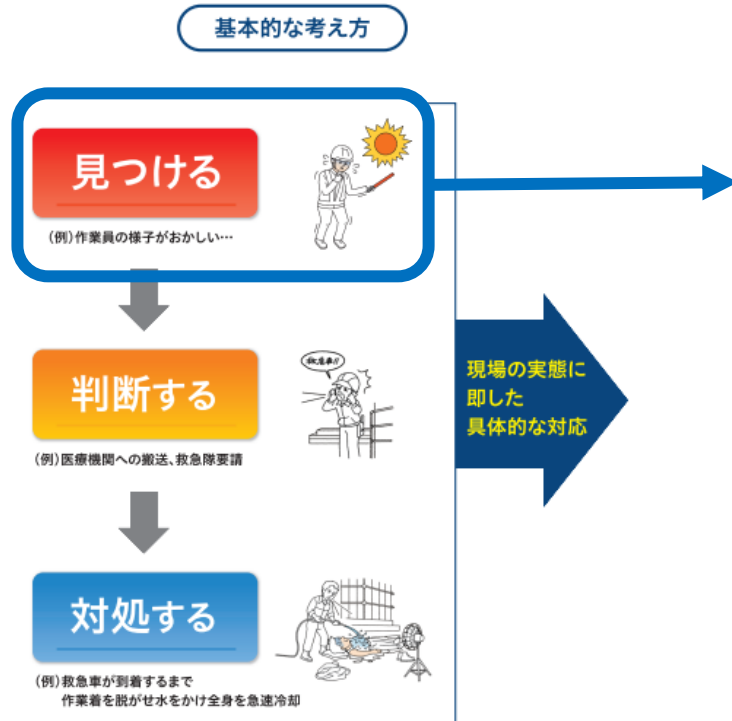
引用元：厚生労働省

<https://site.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/content/contents/002212914.pdf>

<https://site.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/content/contents/002212913.pdf>

今回の労働安全衛生規則の改正について

基本的な考え方



暑熱リスクが中程度以上になると
画面上の注意・警告表示と
バイブ機能でお知らせ

■ 猛暑下の運動・屋外作業時

■ 真夏の屋内

など暑熱リスクの高い環境で活躍

aiwa

aiwaイメージキャラクター
中山雅史

あなたの体調を見守り未来の健康を ささえる暑熱リスク管理

暑熱リスクを検出できる多機能スマートバンド

- 暑熱リスク検出モード搭載
- 100種以上のスポーツモード
- IP67防水防塵
- 最大14日間長持ちバッテリー
- 1.64インチ有機EL液晶



スマートバンド
aiwa band

独自アルゴリズムで暑熱環境下でのリスクレベルを検出
大型1.64インチ有機EL液晶搭載で100種以上のスポーツモードや
アクティビティトラッキング機能も充実のスマートバンド

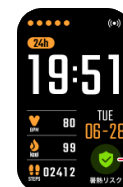
最大輝度450cd/m²で見やすい有機EL液晶と、指紋や傷がつきづらい指紋防止コーティング強化
ガラスを採用。運動の記録や利便性の高い機能を多数搭載し、生活を便利に彩ります。

※ミツフジ株式会社が開発した、運動中の心拍情報から深部体温上昇変化を推定するアルゴリズムを応用
※暑熱リスク検出は自動検出機能をオンにすることで稼働します。

専用アプリ「aiwa wear」対応



暑熱リスク検出



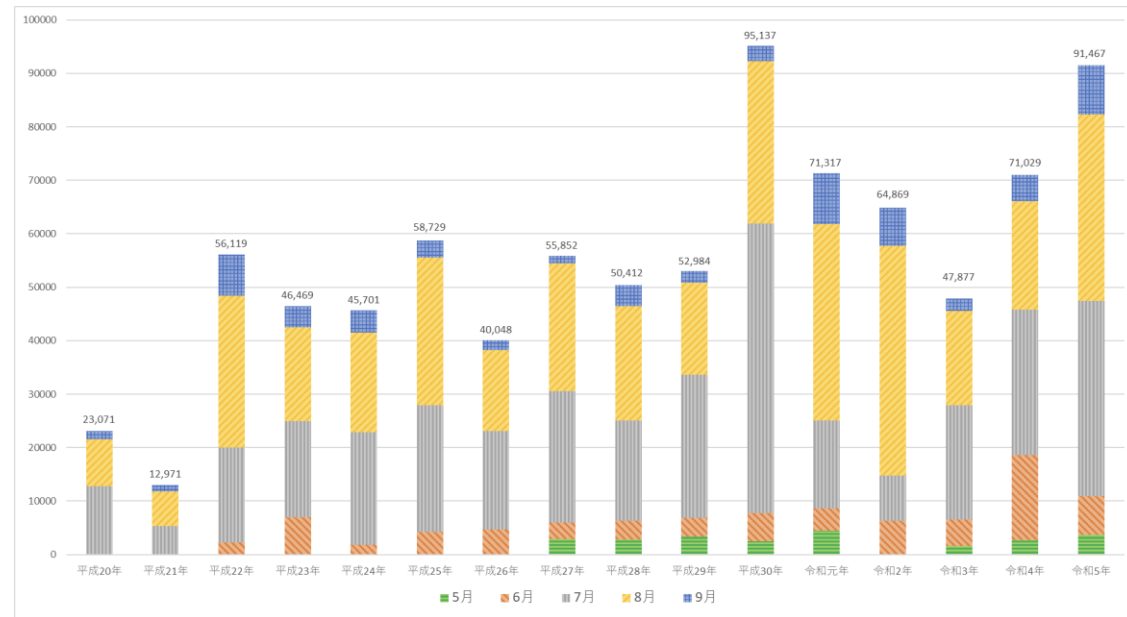
- 計測中/未計測
- 暑熱リスク 低
- 暑熱リスク 中
- 暑熱リスク 高





年々激しくなる猛暑に加え、熱中症の発生場所は住居や職場、屋外までと幅広く、また年代も高齢者だけでなく成人や子供も多く熱中症となっています。

誰もが熱中症になりうるリスクのある時代に、少しでもリスクを減らしたいという思いから開発された独自のアルゴリズムをaiwa bandに搭載しています。



https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/items/r5/heatstroke_nenpou_r5.pdf

総務省消防庁の発表によると令和5年（5月～9月）の熱中症による救急搬送人員は**91,467人**

運動中の心拍情報から深部体温上昇変化を推定

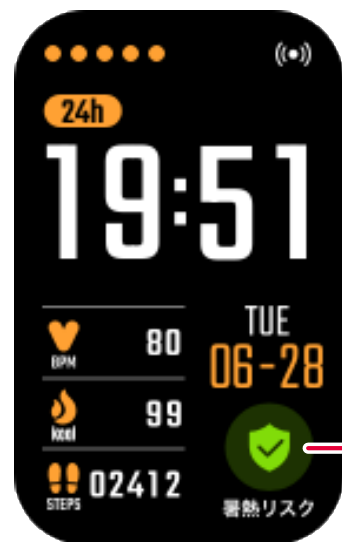
「ミツフジ株式会社」が開発した、運動中の心拍情報から深部体温上昇変化を推定するアルゴリズムを応用し、脈波データでも深部体温上昇の変化を推測できるアルゴリズム開発に成功。aiwa bandにはそのアルゴリズムが搭載されています。

暑熱リスク検出モード

ミツフジ株式会社が開発した独自のアルゴリズム^(*)により、本体裏側の光学センサー部で測定した脈波をもとに暑熱リスクを算出します。暑熱環境下で使用するにより正常にアルゴリズムが動作します。

暑熱リスク自動検出
スイッチON

演算開始



- ⊙ 計測中/未計測
- ✓ 暑熱リスク 低
- ⚠ 暑熱リスク 中
- ⚠ 暑熱リスク 高

暑熱リスク自動検出中は暑熱リスクの程度が
ウォッチフェイス画面に表示

暑熱リスクが中程度以上になると
画面上の注意・警告表示とバイブ
機能でお知らせ

猛暑下の運動・屋外作業時

真夏の屋内

など暑熱リスクの高い環境で活躍



- 本製品は、この注意表示や振動により使用者へ休息や水分補給を促すことを目的としています。
 - 本製品は脈波から深部体温^{(*)2}の上昇の変化を推定する機器であり、体温を測定する機器ではありません。
 - 本製品は医療機器ではありません。
 - 暑熱リスク検出機能をオンにした場合、「心拍数」測定機能や「血中酸素濃度」測定機能、各種エクササイズ測定機能などが使用できなくなります。
 - 暑熱リスク検出機能をオンにすると、通常よりもバッテリー消費が速くなります。
 - ウォッチフェイスによっては暑熱リスクは画面に表示されません。
 - 本製品で測定したデータは医療目的に使用されることを意図しておりません。本製品または本製品で使用するアプリケーションは、疾病の兆候の検出や、診断、治療、予防を目的とするものではありません。
- (*)1 特許 7175473
(*)2 深部体温とは、脳や臓器などの体の内部の温度のことを言います。



100種以上のスポーツモード

ウォーキング/ランニング/サイクリング/なわとび/
ハイキング/登山/トレーニング各種/球技/ダンス etc.



100種以上のウォッチフェイス

5種のデフォルトウォッチフェイスに加え、
aiwa wearアプリから100種類選べます。
また写真をウォッチフェイスにすることもできます。



その他にも
多様な機能が満載



特許技術アルゴリズム
脈波情報から
深部体温の上昇変化を推定



スポーツモード
100種以上



ウォッチフェイス
100種以上



バッテリー
200mAh
待機時間最大約14日間



**心拍/血中酸素濃度
測定**



防水防塵
IP67

運動の記録や生活を便利に彩る 充実の機能が満載

歩数計やカロリー計算、心拍計測や血中酸素濃度計測、睡眠モニターなどの充実の機能と、最大14日間長持ちバッテリーであなたの生活を24時間彩ります。IP67防水防塵のため日常の家事でも気にせず着用でき、またちょっとした雨の中の運動でも活躍します。

バンド3カラー/充電ケーブル2本付属

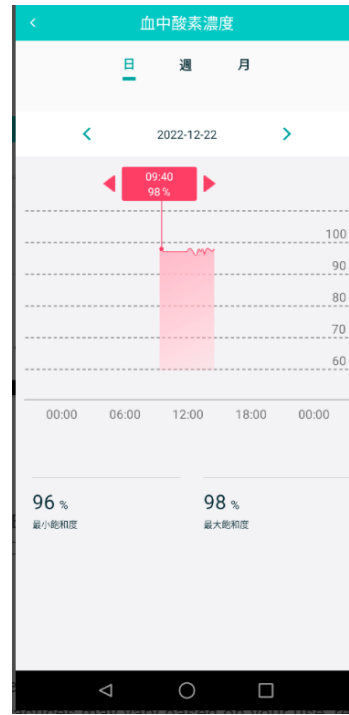
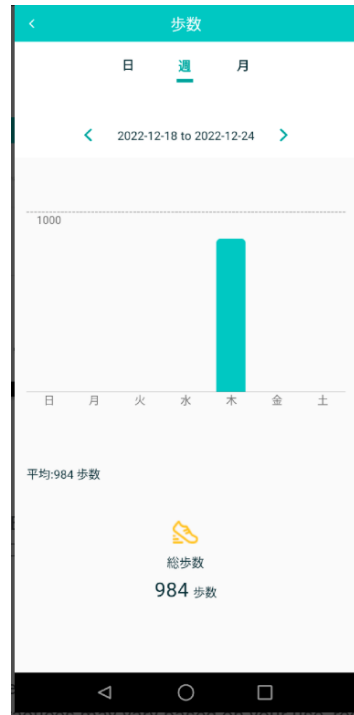
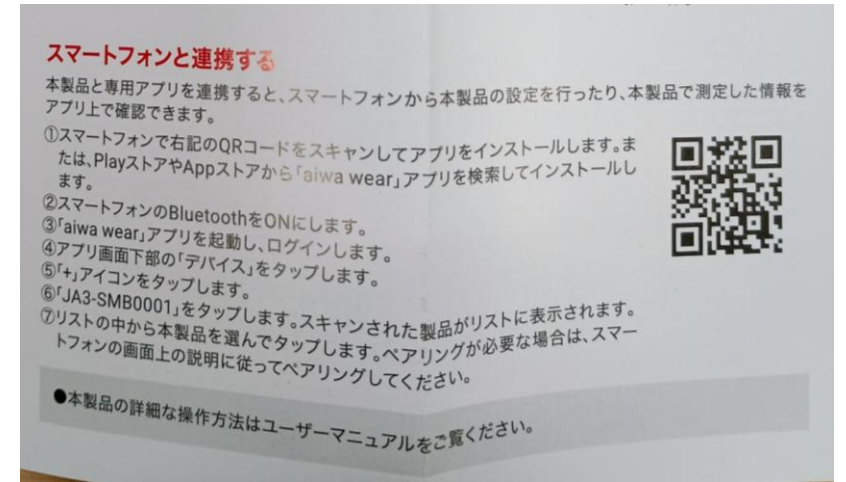


■ aiwa wear ご紹介



説明書にアプリのQR&接続方法の説明があるため、
迷わずに設定可能

アプリ操作に迷わないシンプルな画面と、
継続して計測可能な、歩数・睡眠時間・血中酸素濃度数値で
健康管理をサポートします！



■ 機能まとめ

暑熱リスク検出

aiwa

あなたの体調を見守り未来の健康を
ささえる暑熱リスク管理

暑熱リスクを検出できる多機能スマートバンド

- 暑熱リスク検出モード搭載
- 100種以上のスポーツモード
- IP67防水防塵
- 最大14日間長持ちバッテリー
- 1.64インチ有機EL液晶

aiwaイメージキャラクター
中山雅史

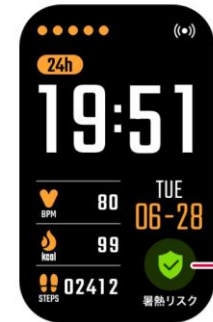
スマートバンド
aiwa band

運動中の心拍情報から
深部体温上昇変化を推定



暑熱リスク検出モード搭載

暑熱リスク自動検出スイッチON ▶ 演算開始



計測中/未計測

暑熱リスク 低

暑熱リスク 中

暑熱リスク 高

暑熱リスク自動検出中は暑熱リスクの程度が
ウォッチフェイス画面に表示

暑熱リスクが中程度以上になると
画面上の注意・警告表示とバイブ機能でお知らせ

猛暑下の運動・屋外作業時

真夏の屋内

など暑熱リスクの
高い環境で活躍



その他のスマートバンド機能

100種以上の
スポーツモード

100種以上の
ウォッチフェイス

心拍数・血中酸素濃度
計測など、その他にも
多様な機能が満載



IP67
防水防塵



バッテリー **200mAh**
待機時間最大約 **14日間**



バンド**3**カラー
充電ケーブル**2**本付属





aiwa